

のるーと広陵元気号の車両の取得について

01.これまでの経緯

のるーと広陵元気号運行開始当初から、運行車両（トヨタ・ハイエースコンピューター〈乗車定員14人〉）が中型車両のため、①交通規制により進入できない箇所があること、②住宅密集地で道路が狭いいため必要な箇所に乗降場所が設定できていないこと、が課題として顕在化。このため、**普通車両「トヨタ・ハイエースワゴン DX ウェルジョイン」〈乗車定員10人〉にダウンサイジング**する方針として、国・奈良県へ補助金申請し、令和7年度中に車両取得・運行開始する予定。（令和7年2月7日第48回活性化協議会にて報告）

02. 補助金申請について

①国庫補助金「地域公共交通確保維持改善事業費補助金（車両減価償却費等国庫補助金）」

本日の議題として本協議会の承認をいただいた後、奈良運輸支局へ補助金申請予定。

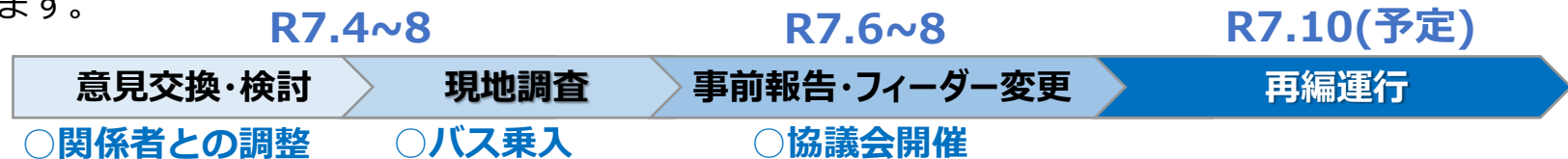
②奈良県補助金「公共交通基本計画推進支援事業」

令和7年2月7日付けで奈良県に補助金申請しており、現在書類審査実施中。（ヒアリングなし）

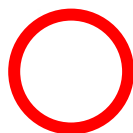
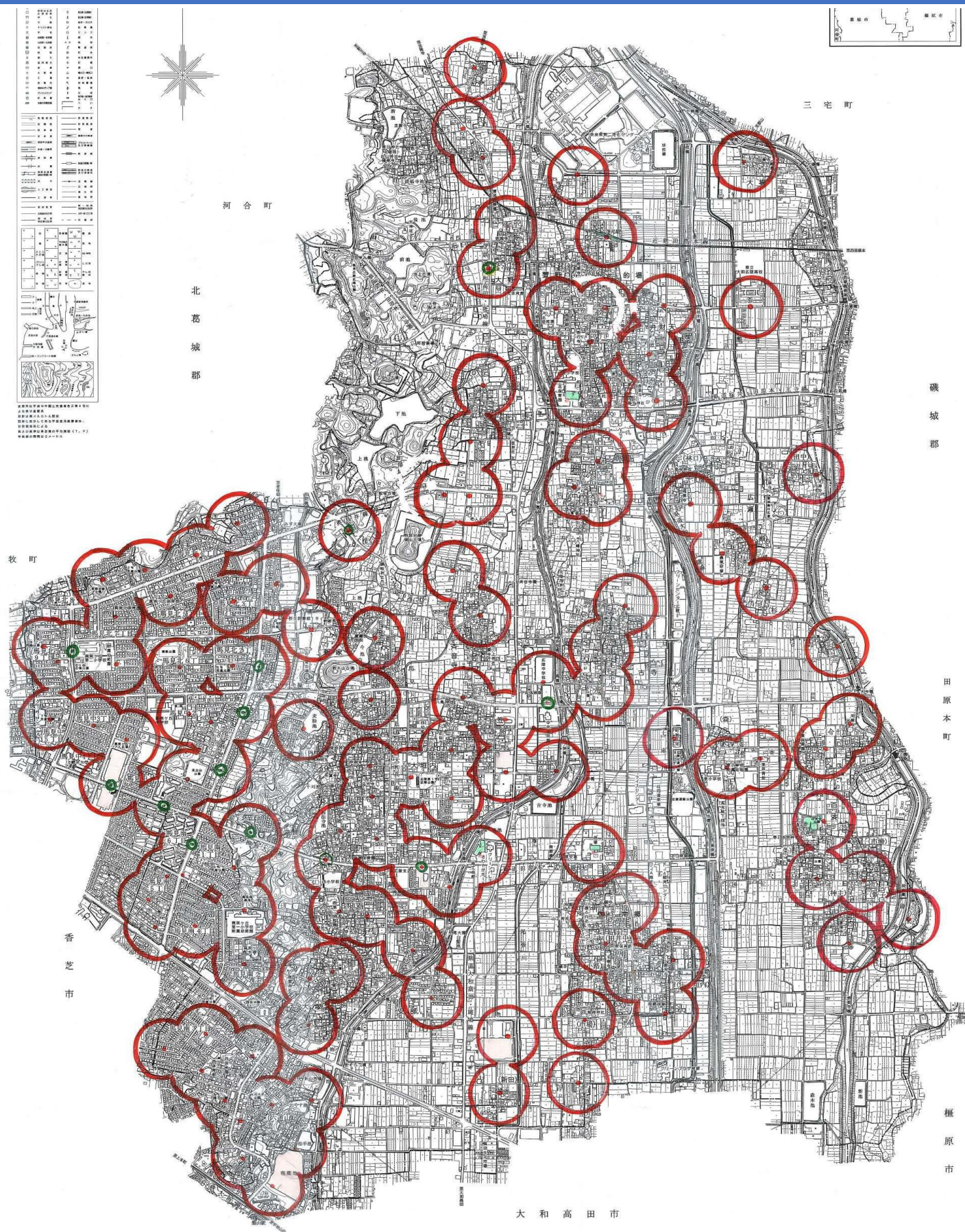


03. 乗降場所の変更・追加について

車両のダウンサイジングに伴い、乗り入れ・設置可能となる乗降場所の検討を行います。乗降場所の変更・追加につきましては、現状の乗降場所数・位置で不足している箇所や運行後に課題が発生している箇所（裏面「バス停位置図」参照）をピックアップした後、地元区・自治会の代表者、運行事業者（愛和交通）、電話オペレーター（社会福祉協議会）と意見交換の上、検討することとします。変更・追加となる乗降場所につきましては、本協議会で事前に報告させていただきます。



のるーと広陵元気号のバス停位置図



円は直径250mで設定（徒歩5分以内の目安）